

# 激変する環境下での 経営革新

～リスクを機会に変えるマネジメント～

新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、資源・基幹部品不足、食糧不足…世界中で混乱が生じている一方で、市場環境ではSDGsやカーボンニュートラルといった大きな変化が急速に進展しています。  
組織の持続的成長のために堅牢でレジリエント、かつアジャイルな経営の実現が重要性を増す中、「リスクを機会に変える」ためにマネジメントシステムをいかに活用するべきか、識者によるヒントをお届けします。

2022.

# 8.25

 (木) 13:00～17:15 [オンライン開催]

参加無料

## □ 講演



### 変化を機会に ～顧客価値創造経営のススメ～

#### 飯塚 悦功 氏

公益財団法人 日本適合性認定協会 理事長  
東京大学名誉教授



### 危機を克服する経営品質マネジメント革新

～3Mでの挑戦～

#### 大久保 孝俊 氏

元 スリーエム ジャパン株式会社 執行役員  
早稲田大学ビジネススクール講師



### 経営の強力なツールとしてのISO認証

～危機管理の認識とCS・ES両立の仕組み～

#### 深町 正博 氏

元 近畿松下テクニカルサービス株式会社 社長  
元 松下電器産業株式会社 理事

## □ 対象

JACB 会員認証機関の認証組織  
JACB 会員認証機関の職員・審査員

## □ プログラム

- JACB代表幹事 挨拶 菅野 良一 (日本検査キューエイ株式会社 代表取締役社長)

- 講演「変化を機会に ～顧客価値創造経営のススメ～」

飯塚 悦功 氏 Yoshinori IIZUKA

1947年生まれ。1970年東京大学工学部計数工学科卒業。1974年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1997年東京大学教授。2013年退職。2016年公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) 理事長。専門は統計解析、品質マネジメント。東京大学名誉教授。超ISO企業研究会会長。日本品質管理学会元会長、デミング賞審査委員会元委員長、日本経営品質賞委員、ISO/TC 176元日本代表、JAB認定委員会元委員長など。

わが国の経済・産業構造は80年代半ばに経済高度成長期から成熟経済社会期に移行した。それが明らかな経済現象として現れるのが90年代初めのバブル経済崩壊である。組織には社会・経済・産業の構造変化に応じた改革が望まれる。ところが日本は「失われた10年、20年、それでも足りずに30年」という時間を浪費した。

品質を始めとするマネジメントシステム (MS) 認証の普及は90年代に始まる。ところが、認証が求めるMSは、変革の時代が求める経営スタイルとは微妙に異なる。組織は、認証で求められるMSを基盤として、自主性をもって組織の経営力を高めるような組織運営をする必要がある。その有力なアプローチと目される価値創造を基軸とする経営スタイルについて考察する。

- 講演「危機を克服する経営品質マネジメント革新 ～3Mでの挑戦～」

大久保 孝俊 氏 Takatoshi OKUBO

1955年生まれ。1980年九州大学大学院工学研究科応用化学専攻修士課程修了。1983年住友スリーエム (現スリーエム ジャパン) 入社。米3M社等勤務を経て2016年スリーエム ジャパン 執行役員 コーポレート・プロセス・イノベーション及び品質保証担当。2013年東京工業大学イノベーション人材養成機構非常勤講師 (～2019年)。2015年早稲田大学ビジネススクール非常勤講師。

企業とは、多様な価値観や思考回路を持つ人間が、経営理念や企業理念という「価値基準」の下に活動している集団である。少なくとも1000年は変化していない人間の脳の構造から導かれる生物学的なアルゴリズムと生後の育ちから形成される神経細胞のネットワークの多様性を理解した上で、社員の行動が「価値基準」により自律的に導かれるような方法論、具体的には「変革はマネジメントできる、変革のリーダーを育成できる」という体系づくりに取り組んできた。3Mでのグローバルなイノベーションとオペレーショナルエクセレンスの業務、早稲田大学ビジネススクールでのイノベーション経営システムの講義、及び企業内コンサルティング等での「ニューロマネジメントを駆使できるリーダー育成」などの経験に基づいて、「危機を克服するマネジメント革新」を主題にした考え方を紹介する。

- 講演「経営の強力なツールとしてのISO認証 ～危機管理の認識とCS・ES両立の仕組み～」

深町 正博 氏 Masahiro FUKAMACHI

1946年生まれ。1964年松下電器工学院卒業。同年 松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社) 入社。1996年からマレーシア、フィリピン、台湾、中国等の海外のエアコン生産工場を工場長として統括。1998年エアコンシステム事業部事業部長兼松下エアコンエンジニアリング株式会社社長。2000年近畿松下テクニカルサービス株式会社社長。2002年松下電器産業株式会社理事。2006年松下電器産業株式会社CS本部顧問。

経営責任者として仕事を進めるなかでいろいろな学びがあった。まず経営とは何か、その定義が原点となる。あるべき方針・目的を掲げて組織の目標に落とし込み、さらに実現に向けた経営の仕組みを構築して、正常に動作しているかを管理監督する。そして、その機能の維持・向上、更には必要に応じて革新させていくことが自らの役割であること。

とりわけ重視したことは企業活動に携わる従業員の心情を理解し、モチベーションの向上を図る施策を経営の仕組みに落とし込んでいくことである。従業員満足度 (ES) を第一に考えて経営の土壌を作らない経営責任者のもとに、継続的な経営の成果は有り得ない。試行錯誤の中から作り上げたISO 14001をベースとした経営の仕組みの事例を紹介する。

- TOPICS 「IAF CertSearch ～顧客リスク低減への国際的取組みの現状～」

森内 譲 氏 (公益財団法人 日本適合性認定協会 専務理事)

- JACB副代表幹事 挨拶 小野寺 将人 (一般財団法人 日本科学技術連盟 専務理事 事務局長)

- 下記URLまたは右のQRコードより申込みフォームへアクセス、必要事項をご記入ください。  
<https://jicqa2.smtg.jp/public/application/add/280>
- お申込期間：2022年7月7日(木)～8月12日(金)
- 開催の約1週間前に、視聴用IDおよびパスワードをメールにてお届けいたします。



お申込み